

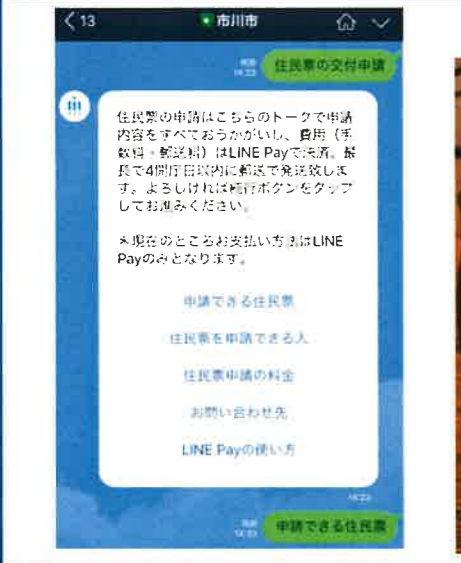
1. 行政区再編について



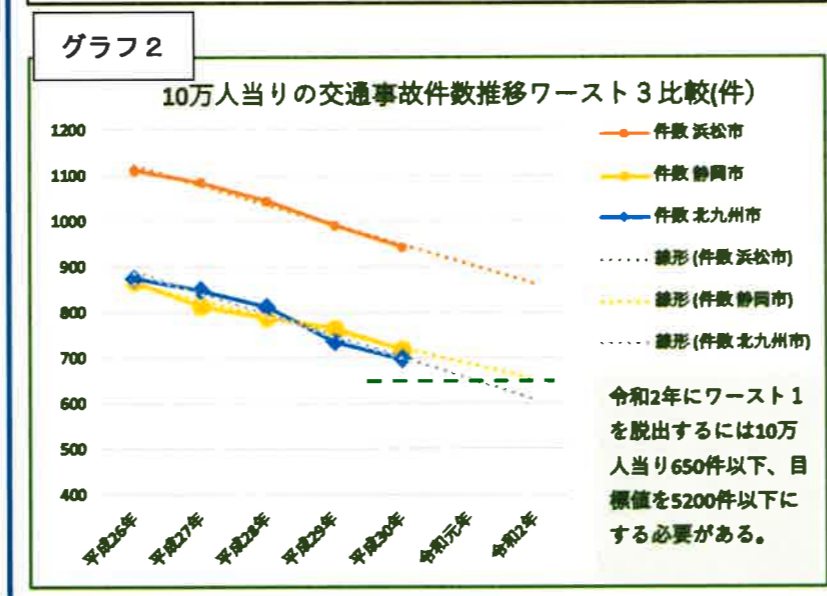
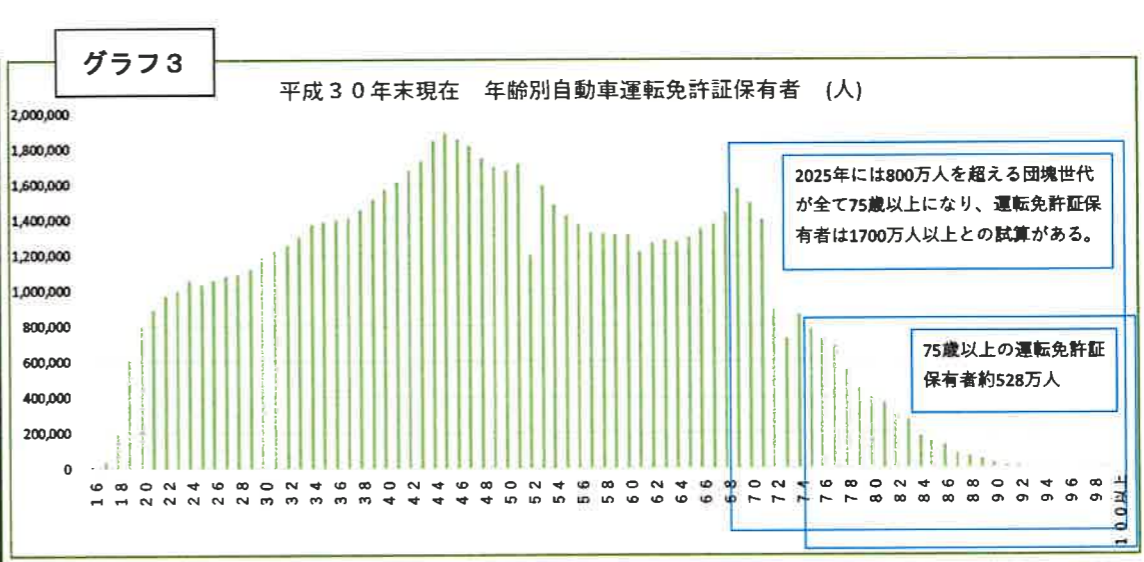
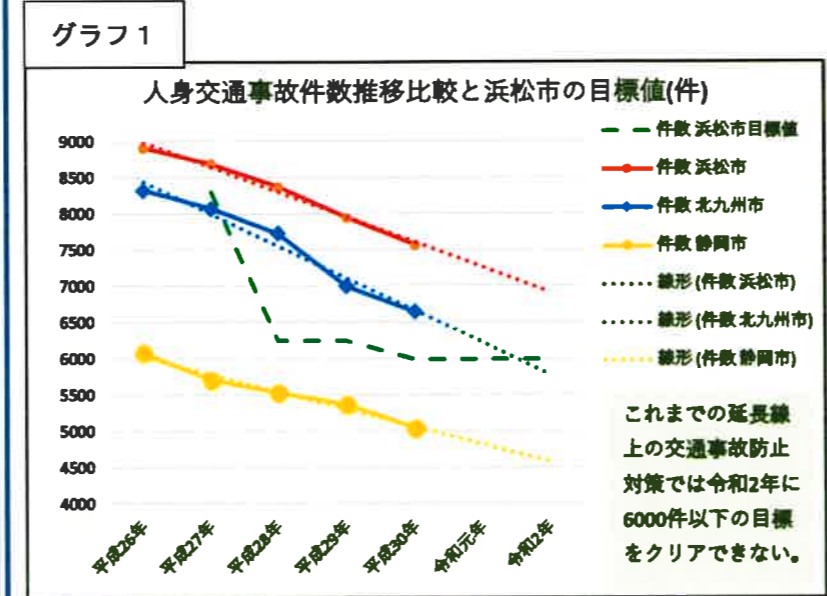
(3) 住民投票に関する説明会について
天竜区壬生ホールでの市民説明会の状況、参加者が少ない。

(6) ICT利活用の取組
市川市ではLINEで住民票申請後、自宅に送付されるシステムなど実証実験が行われている。

本市のAIスピーカー実証実験。夜間や休日の時間外でも問い合わせできる。ICTの推進により来庁する機会は減少方向。



2. くるまの先進技術による社会的諸課題解決について



(2) 自動運転の実用化に向けて
庄内地区廃止バス路線での実証実験及び、はままつフラワーパークでの自動運転バス試乗会実施



路側線とセンターラインが消えた道路の例。サポカーの「歩行者事故低減ステアリング」は路側帯を歩く歩行者との衝突回避を支援する。歩行者側の白線及び歩行者をカメラで認識して事故を回避するものであり、白線が消えていると機能しない恐れがある。

4. 市街地の酷暑対策について



強剪定により景観の悪化と、緑陰が無くなった歩道の事例



根上がりにより歩道が盛り上がっている事例



伐採後何年も放置されている街路樹跡の事例。撤去して歩行空間を広げるべき



台風に伴う倒木により電線を切断し、停電と交通渋滞を招いた事例

自治体の高齢者向けサポカー補助金制度の状況 (調査法制課調べ)

◎現行実施している主な自治体(20自治体)

自治体	開始時期	補助金額	補助対象
北海道 浦河町	H30年度～ R2年度	5万円	(1) サポカーSに区分される自動車
岩手県 八幡平市	R元年度 R2年度 R3年度	上限10万円	(1) サポカーS(ワイド)10万円 (2) サポカーS(ベーシック+、ベーシック)8万円
山形県 舟形町	H30年度 R元年度	5万円	(1) 衝突被害軽減ブレーキ
群馬県 明和町	H29年度～	5万円	(1) 衝突被害軽減ブレーキ (2) 車線維持支援制御装置、車線逸脱警報装置 または、ふらつき注意喚起装置 (3) ペダル踏み間違い時加速抑制装置
群馬県 甘楽町	H31年度～	5万円	(1) 衝突被害軽減ブレーキ (2) 車線維持支援制御装置、車線逸脱警報装置 または、ふらつき注意喚起装置 (3) ペダル踏み間違い時加速抑制装置
東京都 檜原村	H30年度～	上限50万円	(1) 衝突被害軽減ブレーキ(必須) (2) 車線逸脱防止支援機能 (3) ペダル踏み間違い時加速抑制機能 (4) ふらつき運転注意喚起機能 (3)～(5)のいずれか
新潟県 刈羽村	H29年度～ R元年度	10万円	(1) 先進安全装置(標準装備)10万円 (2) 先進安全装置(オプション装着費)上限10万円
長野県 飯綱町	R元年度 R2年度	上限3万円	(1) 衝突被害軽減ブレーキ(必須) (2) 車線維持支援制御装置 (3) 車線逸脱警報装置 (4) ふらつき注意喚起装置 (5) ペダル踏み間違い時加速抑制装置 ※(1)で2万円、(2)～(5)のいずれか1つ以上で1万円上乗せ
岐阜県 美濃加茂市	H29年度～ R元年度	2万円	(1) 衝突被害軽減ブレーキ
岐阜県 本巣市	R元年度～ R3年度	上限3万円	(1) 衝突被害軽減ブレーキ(必須) (2) ペダル踏み間違い時加速抑制装置(必須) (3) 車線維持支援制御装置 (4) 車線逸脱警報装置 (5) ふらつき注意喚起装置 ※(1)、(2)2万円、(3)～(5)のいずれか1つ以上で1万円上乗せ
岐阜県 川辺町	R元年度～ R3年度	3万円	(1) 衝突被害軽減ブレーキ

自治体	開始時期	補助金額	補助対象
岐阜県 富加町	H29年度～	上限3万円	(1) ペダル踏み間違い時加速抑制装置(必須) (2) 車線維持支援制御装置 (3) 車線逸脱警報装置 (4) ふらつき注意喚起装置 (5) 衝突被害軽減ブレーキ ※(1)で2万円、(2)～(5)のいずれか1つ以上で1万円上乗せ
岐阜県 東白川村	R元年度～	上限4万円	(1) ペダル踏み間違い時加速抑制装置 (2) 衝突被害軽減ブレーキ (3) 車線逸脱警報装置 (4) 車間距離制御装置 (5) 自動切替型前照灯 ※(1)で3万円、(2)～(5)のいずれか1つで1万円上乗せ。(2)～(5)のうち1つ以上で2万円
愛知県 碧南市	R元年度 R2年度	7万円	(1) 衝突被害軽減ブレーキ (2) ペダル踏み間違い時加速抑制装置 (3) ドライブレコーダー
和歌山県 高野町	R元年度～	5万円	(1) サポカーSに区分される自動車
鳥取県 岩美町	R元年度～ R3年度	3万円	(1) 衝突被害軽減ブレーキ (2) 車線逸脱警報またはレーンキープアシスト (3) ペダル踏み間違い時加速抑制装置
岡山県 美咲町	H29年度～ R元年度	上限5万円	(1) 衝突被害軽減ブレーキ(必須) (2) ペダル踏み間違い時加速抑制装置 (3) 車線維持支援制御装置 (4) 車線逸脱警報装置 ※(1)で3万円、(2)～(4)のいずれか1つで1万円上乗せ、2つ以上で2万円上乗せ
香川県	H28年度～	3万円	(1) 衝突被害軽減ブレーキ (2) 車線逸脱警報 (3) ペダル踏み間違い時加速抑制装置 (4) 先進ライト
高知県 奈半利町	R元年度～	3万円	(1) 自動ブレーキ(対歩行者) (2) 車線逸脱警報または車線維持支援制御装置 (3) ペダル踏み間違い時加速抑制装置
福岡県 苅田町	H30年度 R元年度	3万円	(1) 衝突被害軽減ブレーキ(必須) (2) 車線維持支援制御装置 (3) 車線逸脱警報装置 (4) ふらつき注意喚起装置 (5) ペダル踏み間違い時加速抑制装置 ※(2)～(5)のいずれか

◎後付け装置に補助している主な自治体（6自治体）

自治体	開始時期	補助金額	補助対象
新潟県 刈羽村	H29年度～ R元年度	10万円	(1)先進安全自動車装置購入費と取り付け費用
岡山県 美作市	R元年度 R2年度	上限10万円	(1)自動車急発進防止装置購入費と取り付け費用
岡山県 美咲町	H29年度～ R元年度	上限15万円	(1)踏み間違い防止ペダルと取り付け費用
福岡県 うきは市	H31年度～	上限3.7万円	(1)安全運転装置購入費と取り付け費用（上限2.2万円） (2)急発進防止装置とドライブレコーダー（上限3.7万円）
大分県 日出町	H30年度～	上限2万円	(1)自動車急発進防止装置購入費と取り付け費用
熊本県 玉名市	H29年度～ R元年度	上限5万円	(1)ATワンペダル（ペダル踏み間違い防止装置）購入費と取り付け費用

※玉名市は、H23年度～H25年度にも実施

◎制度が終了した自治体（4自治体）

自治体	実施時期	補助金額	補助対象
群馬県 大泉町	H30年度	普通車5万円 軽自動車2.5万円	(1)衝突被害軽減ブレーキ（必須） (2)ペダル踏み間違い時加速抑制装置（必須） (3)車線逸脱警報 (4)車線維持支援制御 (5)ふらつき注意喚起 ※(3)～(5)のいずれか
石川県	H30年度	3万円	(1)自動ブレーキ (2)車線逸脱警報 (3)ペダル踏み間違い時加速抑制装置 (4)先進ライト
愛知県 豊田市	H28年度 H29年度	上限3万円	(1)衝突被害軽減ブレーキ（必須） (2)車線維持支援制御装置 (3)車線逸脱警報装置 (4)ふらつき注意喚起装置 (5)ペダル踏み間違い時加速抑制装置 ※(1)2万円、(2)～(5)のいずれか1つ以上で1万円上乗せ
鳥取県	H28年度 H29年度 H30年度	3万円	(1)衝突被害軽減ブレーキ (2)車線逸脱警報 (3)ペダル踏み間違い時加速抑制装置

～ 豊田市の状況 ～

- ・高齢ドライバーの重大事故に対する緊急対策メニューの1つとして他の事業も含め2カ年実施。
- ・2年間で市場動向が変化し、安全装置は新車標準装備が進んできている。
- ・新車に安全装置が装備されている割合は、独自推計でH28年度が4割、H29年度が7割。
(国の装着率目標は2020年に9割。日刊自動車新聞によると、緊急自動ブレーキの装着率は、2017年で9割前後を達成。)
- ・H30年度以降は、補助金による促進効果は薄いと判断し、事業継続はしなかった。

※石川県、鳥取県も同様